

Rich Dad

Robert Kiyosaki

Poor Dad Letter

4月号



コロナ対策：健康とお金について

※先日、動画で限定公開したラジオ番組の対談形式のものですが、ぜひ知っていただきたい内容でしたので、このニュースレターにも改めて掲載しています。なお、この動画は2020年3月11日に公開された内容ですので、その時点の情報で話されています。

ロバート・キヨサキ（以下、ロバート）：

こんにちは。ロバート・キヨサキが、The Rich Dad Radio Show をアリゾナ州の古き良き街、スコッツデールからお届けします。今回はコロナウィルスに関する良いニュース、悪いニュースについて。ご存知のとおり、今や岩山にでも住んでいない限り、ニュースはコロナでもちきりです。だから「果たしてコロナウィルスは『リアル』なのか？それとも『フェイク』なのか？」ここでハッキリ突き止めたいと思います。

その上で、コロナがリアルな話なら、どうすれば犠牲者になることを避けられるのか、考えていきましょう。健康面だけじゃありません。「自分は大丈夫さ」と思っている人もいるかもしれませんが、金銭面への影響があるかもしれませんよ。というわけで、コロナウィルスとの戦いは、健康面・金銭面での2つの戦いなんです。私の友人で、ジム・ロジャーズという人がいて、彼は今シンガポール在住で、取締役会のためにニューヨークに行ったんですって。そうしたら、他の取締役から「来ないでくれ」と言われたそうで。

「いやいや、俺は病気じゃないぞ」と答えたらいいんですが「ダメだ。シンガポールに住んでるんだから、取締役会にはこないでくれ」って。それでジムいわく「せっかくニューヨークまで行ったのに、取締役会に参加できなかった…電話で参加してくれって…」だそうです。今、ニューヨークは、それほどコロナで荒れています。

また同時期に、私もダラスからフェニックスまでの飛行機に乗ったのですが、昔のバイカーみたいなゴツイ人がいてね。私は「ハロー」って言って、その人の隣の座席に座ったのですが、その人、私のことをジロっと睨んで「俺に向かって咳すんじゃないぞ！」って言うんですよ。「私は中国人じゃありませんよ」って言っても「俺のほうに咳すんじゃないぞ！」って。コロナウィルスの話は色々ありますよね。重要なのは、これがリアルでもフェイクでも、健康面・金銭面でも犠牲者にならないこと。たとえフェイクだったとしても、市場や経済は影響を受けますからね。

というわけで、今日は、コロナウィルスに関連して、健康と経済の専門家にゲストとして来て頂きました。1人

目は、Dr. クリス・マーテンソン。私の 2008 年来の友人です。アダム・タッガードと書籍「The Crash Course」を共著した人です。とても大事なことが書いてある本なので、ぜひあなたも読んでください。大事なことが書いてありますよ。マクロ経済において今世界で何が起きているかが書いてある本です。

もう 1 人のゲストは、私の主治医でもある、Dr. ニコル・シュレドニッキです。Dr. ニコルと呼んでいます。彼女は、ジョージタウン大学を「私と並んで」主席で卒業した、博士号を持つナース・プラクティショナー（上級公認看護師）です。…「私と並んで」というのは嘘で、私は底辺でした。主席って言ったら、トップですからね。

というわけで、今日はこうして、とても賢くて、健康やコロナウィルスについてしっかり理解している 2 人の専門家に来ていただきました。Dr. ニコルは、コロナの前からずっと私に口うるさいんですよ。「飛行機の座席とテーブルは、絶対に拭いてから使ってくださいね！最悪に汚いんですから。トイレよりも汚いですよ！」って。私も、世界でもっとも不潔な場所の 1 つは機内の「ある場所」だ、って何かの記事で読みました。前の座席についている、雑誌が入っているポケットあるでしょう？一番ばい菌が繁殖している場所を調べたら、どの機体にもついていて、あの雑誌ポケットだったそうです。

というわけで、本日のゲストは、私の長い友人でもある Dr. クリス・マーテンソンと、Dr. ニコル・シュレドニッキの 2 人です。Dr. ニコルは、私の友人・心臓専門医・主治医でもある Dr. ラーダのフィアンセでもあります。というわけで、The Rich Dad Radio Show によろこ。

Dr. クリス・マーテンソン（以下：Dr. クリス）：ありがとうございます。

ロバート：Dr. ニコル、何から始めましょうか？

Dr. ニコル・シュレドニッキ（以下：Dr. ニコル）：今日はありがとうございます。

ロバート：あなた、いつも口うるさいですよ。テーブルを拭きなさい！マスクを持ち歩きなさい！って。

Dr. ニコル：はい(笑)！私が言っていた大事なアドバイスを覚えてくれて、良かったです。前は「やれやれ、うるさいな」みたいな顔をしてましたけど、ついに通じたんですね！

ロバート：いや、まだ「やれやれ」ですよ。でも、あなたがくれた除菌グッズは、いつも持ち歩いていますよ。使ってないですけど。アドバイスも、忘れたわけではありません(笑)

Dr. ニコル：(笑) 今、私はマイアミ空港にいて、これからフェニックスに戻るところなんですが、疫病対策センターからの推奨にもかかわらず、マスクをしている人、私以外にほとんどいないんですよ。私、ものすごく調べたんですから。自分自身を守るのは当然のこと、明日オフィスに戻って患者さんとも接するので、できる限り露出のリスクを下げたいんです。というのも、このウィルスのもっとも怖い点が、無症状でも感染源になる可能性がある点なんです。

ロバート：わかりました。では、Dr. マーテンソン、少し経歴を教えてくださいませんか？ドクターと言っても、医師

ではないんですよね。どのようなドクターなのでしょう。そして、今回のコロナウイルスに関する主要な専門家として、YouTube などを通じて世界中で活躍していらっしゃいますね。あなたの専門分野などを教えてください。

Dr. クリス：はい。今日はお呼びくださってありがとうございます。また、Dr. ニコルともご一緒できて嬉しいです。私はデューク大学で病理学の博士号を取得しました。最初の2年間を医学生として過ごし、その後は少し方向を変え、病理学の研究室を経た後、博士研究员になりました。というわけで、科学分野の知識もありますし、その後 MBA も取得しました。なので、科学の世界とビジネスの世界を行ったり来たりしています。科学にはずっと魅了されてきて、最先端の状況は常に把握しているつもりです。

最近 YouTube で、今回の極めて複雑な科学的データを噛み砕いて説明しています。正直、当局の方達ですら、間違っただけで済んでいるような内容なんです。こういったことが専門のはずの人達が、最近是不適切なアドバイスをしているんですよ。さっき Dr. ニコルからもマスクの話が出ましたが、不適切なアドバイスの1例として「マスクは意味がない」とかね。それって実は「全員分のマスクがありません。だから、医療関係者のためにマスクを確保しておきたいんです」ということを言いたいんですよ。当然のことだとは思いますが、だったら正直にそう言えばいいのに、と思います。

ロバート：では、Dr. ニコル、Dr. クリス、お聞きします。そもそも、このコロナウイルスっていうのは、リアルなんでしょうか？フェイクだって言ってる人も結構いますよね。トランプを当選させるためのサンダースの陰謀だ、とか(笑)

Dr. クリス：いえ、これはリアルですよ(笑)

ロバート：Dr. ニコルは？

Dr. ニコル：Dr. クリスに完全に同意です。これはリアルです。

ロバート：そうですか。ちなみに、あなたの YouTube はどうやって検索すればいいですか？

Dr. クリス：chrismartenson.com か Peak Prosperity で検索して頂ければ、私のチャンネルが見つかります。今の時点で視聴回数が何百万にも達しているのは、きっと私がすごくシンプルでわかりやすい言葉で説明し、わざわざ怖いことを言ったり、欺こうとはしてないからだと思います。ただ「こういうデータがあります」って紹介しているだけなんです。やっぱり消化するのが難しいんですよね、だってこれほど深刻なパンデミックは過去100年間起きていないんですから。なので、皆がうろたえているのもわかります。展開も速いので、私もできるだけ早くデータを解読して届けるようにしています。

ロバート：あれ、SARS（重症急性呼吸器症候群）ってパンデミックじゃなかったんですって？鳥インフルとかも？

Dr. クリス：さっき Dr. ニコルが重要な点を言ってくれました。今回のコロナはインフルエンザとも SARS とも一線を画す点が沢山あるんです。SARS が感染するのは、症状が出たあとでした。SARS に感染すると、発熱し

たり、咳が出たりするので、コロナに比べると抑え込みがラクだったんです。今空港でもやっていますが、旅客の体温を測ったりして、明らかに症状があれば、その人を隔離して接触経路をたどればよかったです。隣に座った人や話した人を見つけて、全員を隔離すれば良かったので、もちろん大変でしたが、止めることは可能でした。

でも今回のコロナは、潜伏期間が非常に長いんです。中国のデータがあるのですが、稀なケースだと最長 27 日間潜伏することもあるそうです。無症状…つまり、咳も熱もないのに実は感染していて、知らない間に感染源にもなってしまう、と。だから、止めるのが非常に困難なんです。今空港で体温スキャンなどを行っていることは良いことなのですが、それだけだと不十分なんですね。

ロバート：私が思ってるのは、これ「オオカミ少年」みたいだなって。「SARS が来たぞ！」「鳥インフルが来たぞ！」「犬インフルが来たぞ！」とか言って、でもしばらくすると、何も起こらなくなるので、みんな耳を傾けなくなっちゃうんです。専門家の意見としてお 2 人にお聞きしたいのですが、今回のコロナは SARS とか鳥インフルとか犬インフルよりも危険なんじゃないでしょうか？

Dr. クリス：はい、より危険です。拡がり方がすごいですね。とにかく感染力が強いんですよ。R0 (R ノート：基本再生産数) と呼ばれている指数があつて、これが 4 ~ 7 に達するんじゃないか、と。その数字の意味するところは、とにかくものすごい速さで拡がる、ということなんです。SARS のほうが致死率は高かったですが、コロナが影響を及ぼす人数は、これまでの比じゃありません。

そういった本格的なアウトブレイク、エピデミックが韓国、イラン、イタリアで既に起きています。クルーズ船も日本もですし、フランスでも 100 症例を超えています。ドイツ、アメリカ、その他の国でも凄まじいスピードで拡がっています。さっき言った R0 (R ノート) の指数だと、ただ直線的に拡がるんじゃなくて、指数関数的に拡がってしまうんですよ。そのスピードたるや、私の書籍にも書いてあるのですが、これが問題なんです。とにかく速い。

ロバート：Dr. ニコルはどう考えますか？コロナは今までの病気よりも危険度が高いんでしょうか？それとも、今回もオオカミ少年でしょうか？

Dr. ニコル：Dr. クリスが言ったように、症例ごとに比較するだけであれば、SARS のようなウィルスのほうが致死率は高いんです。ですが、コロナウィルスに感染する人数はもっと多くなります。中国で、症状の重症化率を研究しているんですが、新型コロナウイルスに感染した人のうち、80% は軽い症状、重症化するの 15%、致命症になるのは 5% です。これが何を意味するかというと、感染している人も多いし、これから感染する人もいるだろうけれど、SARS や MERS (中東呼吸器症候群) などと比較すると致死率は低いということです。ちなみに、SARS も MERS のコロナウィルスの一系統です。

[Part 2]

ロバート：色々なビジネスが休業したり、スターバックスが中国全土で休業したり、アップルも休業したり…ということを耳にしています。また、私達のお金だけではなく、健康にも影響があるかもしれません、というわけで、専門家をお呼びしています。

博士でもある MBA も持つ、Dr. クリス・マーテンソンは、著書「The Crash Course」の中でも、そういったクラッシュ…つまり「崩壊」がどれほどのスピードでやってくるのか、ということを書いています。私もこの本を読んだのですが、考えてみると恐ろしいことです。Dr. クリスは、10万人の観客がいるフットボールスタジアムやスポーツアリーナを例に話しているんですが、最後の瞬間になるまで、誰もコトの重大さに気づかないんですよ…。それが、現在のコロナウィルスの問題でもあります。健康面・金銭面で、あなたは準備ができていますか？

では、お2人に質問です。コロナで死ぬのは誰でしょう？弱った高齢者は死ぬのでしょうか？それとも、年齢に関係なく死ぬ可能性はあるのでしょうか？ Dr. クリス、どうですか？

Dr. クリス：理論上は誰でも…なんですが、コロナがインフルエンザと違って奇妙な点がここにもあるんです。インフルエンザは誰でも襲うのですが、コロナに関しては若年層は重篤にはなっていないんですね。1歳未満で重篤になった症例は報告されていませんし、たしか15歳以下の死亡例もなかったと思います。だから子供は良いんですが、高齢者は、高齢になればなるほど重篤化しやすいんです。年齢に比例しているようです。

なので、高齢者が一番影響を受けています。あとは、女性よりも男性のほうが重症化しやすいというデータも少しあったり、民族との関連性なども囁かれています。とにかくデータも次から次へと色々なものが出てきているので、そのあたりはまだ分かりません。ひとつ言えることは、高齢の方ほど気をつけて頂きたい、ということ。これは絶対です。測定法にもよりますが、重篤な合併症の発症率が15～20%とされています。なので、できるだけ避けてください。こういう状況だからこそ、各自判断をしていかなければいけなくて、旅行業界、催事業界、クルーズ業界も行き詰まっているのではないのでしょうか。

ロバート：だったら、民主党には候補者がいなくなっちゃうかもしれませんね。年寄りばかりだから(笑)。サンダースだって70代です。ブティジェッジは撤退したので、唯一の若手も消えましたしね。ダメですね。Dr. ニコルはどう考えていますか？年齢は関係あるのでしょうか？どんな人が感染しやすいですか？

Dr. ニコル：はい。Dr. クリスが言ったように、年配の方はもちろんのこと、何らかの免疫欠陥がある方ですね…あと、慢性疾患がある方もです。喫煙者もそうですし、糖尿病、呼吸系疾患、心臓病などを抱えている方は、リスクが高まります。一見、比較的健康そうな方でも、そういった併存疾患がある場合はリスクが高くなるので要注意です。あと、まだデータが集まっていないという意味では妊娠中の女性も気をつけたほうが良いですし、私は小さなお子さんも注意すべきだと考えています。

ロバート：まずは健康面の話をしていますが、次のセクションではお金の話に移りますからね。ちなみに、予防の観点からお聞きしましょう。Dr. ニコルはビタミンCの提唱者ですよね。今回はビタミンCは役に立ちそうですか？

Dr. ニコル：もちろん！私はいつも最新技術について調べているのですが、今回のようなケースでは、何ができるかを早急に知っておく必要がありますからね。今、疫病対策センターや医療機関から出ている推奨は、インフルエンザと同じような対策なんですよ。医者に知らせて、きちんと休養して、隔離して、水分を摂ってください、今のところ治療法がないので、と。

ですが、中国ではかなり研究を進めているらしく、HIVの薬との併用や、エボラの抗ウイルス薬まで研究している、と記事で読みました。こういった薬が治療薬になり得るのではないかと。あと、ビタミンCの提唱者として本当に期待したいところなんですが、中国ではこれに加えて大量のビタミンCの静脈注射を研究しているというんです。感染者に対する効果だけでなく、予防的な面も研究していて、今のところ大変良い結果が出ているそうなんです。

ロバート：Dr. クリスはどうでしょう？病理学、毒物学の専門家の観点から、ビタミンCはいかがでしょうか？

Dr. クリス：ビタミンCには様々な効果がありますし、私自身も予防的な健康管理の一貫として使っています。このウイルスの嫌らしい点が、あなたを殺すのはウイルスそのものではない、という点です。コロナウイルスは、あなたの体の役割を一部担っているサイトカインを活性化するんです。サイトカインとは、あなた自身の体がウイルスと戦うための物質なのですが、これがメチャクチャになって体に損傷を与えてしまうんです。また、その過程で有害な分子であるフリーラジカル（遊離基）が大量に生成されてしまうのですが、ビタミンCがこれを掃除してくれるんです。

色々な記事によると、どこかに有効な抗ウイルス物質が含まれていないか、と現在多くの物質に対する研究がなされているそうです。たとえば、リン酸クロロキンという抗マラリア薬があるのですが、奇妙にも、そこからも一部良い結果が出ているそうです。いずれにしても、いま現在、コロナに対抗するために、何百もの研究がなされています。ビタミンCはその中でも話題に出ている物質で、私も気になっているんですよ。

Dr. クリス：私自身も健康管理の一部としてビタミンCは使っています。だってデメリットないですもんね。非常に安全性の高い物質ですし、体にいいですから。なので、私も個人的に使っています。

ロバート：ここまで、コロナウイルスについて話してきました。健康面でも金銭面でも、コロナの犠牲者にならないためにはどうしたらいいのか？次のセクションでは、お金の話に移っていきませんが、数日後にDr. ニコルにお会いするのが楽しみになってきました。大量のビタミンC処方してくれますからね。コロナが一体リアルかフェイクか分からない中においても、犠牲者にならないようにすべきことをお届けしています。次のセクションでは、金銭面でコロナの犠牲者にならない方法についてお話ししていきます。

[Part 3]

ロバート：では、コロナウイルスについて続けていきましょう。コロナはリアルでしょうか？はたまた、フェイクでしょうか？どうすれば、特に、健康面・金銭面において犠牲者にならずに済むのか。ゲストの1人のDr. クリスは長年の友人でもあり、書籍「The Crash Course」をアダム・タッガードと共著した人でもあります。Dr. クリスはマサチューセッツ州在住で、アダムはカリフォルニアでしたね。もう1人のゲスト、Dr. ニコルは私の主治医でもあり、本当に素晴らしい経歴の方なんです。ジョージタウン大学を主席で卒業しただけでなく、米国アンチエイジング学会・再生医療学会にも属しています。さらには、幹細胞（ステムセル）の理事会員でもあるんですよ？

Dr. ニコル：はい、最先端医療が大好きなんです。

ロバート：だから今日もゲストに来てもらってるんですよ。幹細胞ではどんなことをしているんですか？

Dr. ニコル：幹細胞は、驚異的な再生医療です。私もアンチエイジングや、免疫が弱くなった患者さんに使っています。幹細胞は、いわゆる「若さの細胞」とも呼べる細胞で、年齢が上がっていくことで不活発になったり機能しなくなったりするのですが、私達はその細胞を元気にする技術や方法を持っているので、それを使えばエネルギーに満ちたまま、健康で若くいられます。

ロバート：私、もう Dr. ニコルには 2 年位お世話になっているんですが、よく人に聞かれるんですよ。「ロバート、どうやってそんなに痩せて、しかも若返ってるの？」って。Dr. ニコルのところに通って、私もよく分からない最先端の医療の恩恵を受けているからですね。ただ、問題があって、すごく高いうえに保険適用外なんです。これも、金持ちになるべき理由の 1 つです。オバマケアの代わりに、最先端医療を受けられるんですから。オバマケア = 死ねってことですよ（笑）。Dr. ニコル、会社の名前を教えてください。

Dr. ニコル：Ultra Healthy Human です。

ロバート：どう連絡すれば？

Dr. ニコル：www.ultrahealthyhuman.com か、インスタグラムもやっています。グーグルで検索して頂ければポッドキャストもありますし、オフィスに直接電話をくださっても OK です。

ロバート：ありがとうございます。さっき金額のことを言いましたが、別に Dr. ニコルがぼったくってるわけじゃないんですよ。単に、彼女が使っている技術は最先端で最高峰のものなので高額なんです。マーケティングを増やしたところ、貧乏な人からの問い合わせが増えてしまっているとのこと。ただ本当の悲劇は、貧乏な人が増えていることと、彼らは適切な医療ケアが受けられないことなんです。サンダース候補が当選すれば、ぜんぶ無料になるらしいですけど（笑）では、Dr. クリス、いま一度、あなたの専門について教えてくださいませんか？

Dr. クリス：はい、デューク大学で病理学の博士号を取得して…

ロバート：病理学って何ですか？私みたいな素人にも分かるように、説明してください。

Dr. クリス：はい。病理学とは、病気や病期の進行についての学問のことを言います。私達は誰でも病気になるわけですが、その過程があるわけです。病理学では、どうやって病気になるのか、そしてどれくらい病気なのか、どのような病気なのかを研究していくんです。なので、人間がかかる病気の種類や、病期の進行を研究しています。

ロバート：そこから、どういう成り行きで富の領域にも入っていったのでしょうか？あなたは Rich Dad と同じ領域にいると思うんです。私達、一緒に講義したり、講演したりしてますよね。どうやって、病理学や毒物学から、金融やお金や富の領域に入ってしまったか、教えて下さい。

Dr. クリス：長い道のりではありましたが、簡単にまとめると、2000年の株式市場暴落の時に、まず興味を持ったんです。私好奇心が旺盛だし、データが大好きなので、そもそも「お金とは」「経済とか」ということから調べ始めたんですね。その時に、エドワード・グリフィンの「マネーを生み出す怪物 — 連邦準備制度という壮大な詐欺システム」という素晴らしい本を読んで、金融システムについて頭をガツンと叩かれた感覚になり、さらに興味を抱きました。そこから色々と謎を解き始め、最終的に「大きなパーツが集まって動いているんだ」というストーリーが見えて…それで気づいたんです。私は、自分が目にした大きなシステムを人々に教えていきたい、って。そうすれば、その人達がより幸せに、豊かに、そしてたくましく人生を生きていくための行動がとれるはずだ、って思ったんです。

ロバート：とても興味深いお話ですね。ちなみに、今回の番組のどこかで、10万人の観客がいるスポーツアリーナの話もしてもらおうと思っています。変化がどれほどのスピードで襲ってくるのか、という話ですね。さて、その前にコロナウィルスについてももう少し。最近「マスクは意味ない」という話も耳にするんですが、Dr. ニコルは手の消毒液とか、そういう間抜けなグッズを私に持ち歩け、って言うんですよ。もちろん、マスクもつけろ、って。私マスクしませんよ、間抜けに見えますもん。Dr. クリス、マスクって意味あるんでしょうか？

Dr. クリス：意味はあるのですが、全員がマスクをした場合のほうが、もっとも効果を発揮します。精度の高いマスクは、つけている人が咳やくシャミをした時に飛散するウィルスの粒子を止めてくれるんですね。私が魔法使いになって願いを叶えられるとしたら、コロナが収まるまで、アメリカの公共の場では1人残らずマスクをすることになるでしょう。感染防止効果には限界もあるのですが、既に感染している人がマスクをつければ拡散防止になる効果があります。たとえば、インフルエンザなどの感染の疑いがある時に病院に行くと、まずマスクをつけさせられますね。あれは、周りの人をあなたから守るためなんです。

それが、マスクのもっとも効果的な使い方です。ただ、今マスクが国内で不足しているんです。マスクの製造は全部中国に外注してしまっていたため、不意をつかれています。なのでマスクが手に入るまで、もう少しかかりそうです。今のところは、自宅でインフルエンザとか、コロナの疑いがある人がいる場合は、その人にマスクをつけてもらってください。周りの人を守るためです。

ロバート：Dr. ニコル、私の分のマスク、注文してくれたんですね？

Dr. ニコル：特別にとってありますよ！

ロバート：ありがとう。私が頑固なのは知っていると思いますが、Dr. ニコルは私に手の消毒液を使えと言いますが、先日義理の母を見舞いに病院に行ったんですよ。そうしたら、面会するのに防護服を着せられました。冗談でしょ！って。義理の母は95歳なんです。「では、防護服を着てください」って…手も消毒したり…それって本当に意味あるんでしょうか？手の消毒液は効果ないって言う人もいますよね？

Dr. ニコル：手を綺麗にするのに一番効果的な方法は、石鹼と水です。でも、そうできない時は、アルコール度の高い消毒液を使ってください。拡散防止には一定の効果があることは間違いありません。あと、これ他の人は言わないことなんですけど、私は皆さんに言うてるんですよ…除菌シートで携帯を綺麗に拭いてください！って。

だってみんな、いつも携帯触って、その手で食べて、触って、食べて、トイレ行って…って。今も空港で、スキャンするために携帯2回、係員に渡さなきゃいけなかったんですよ。だから、携帯は不潔です。除菌してください。ちなみに病院に行く時ですが… いつもより注意するのは悪いことではないと思います。色々な病気の方、免疫不全の方もいらっしゃいますから。なので、病院では少し注意しすぎても良いと思います。でも私のオフィスに来る時とか、外を歩く時に防護服は要らないと思いますよ(笑)

ロバート：私の友人でもあるトランプを思い出しました。彼も、あなたみたいな細菌恐怖症なんですよ。握手しないんですから。

Dr. ニコル：でも私はケンタッキーは食べないわ(笑)

ロバート：ただ大統領に立候補するからって、握手するようになったそうです。笑えますよね。では、ここからは金銭面の話について、Dr. クリスに聞いていきましょう。今どんなことが起きているのでしょうか？ Dr. クリスは、もし自己隔離することになっても生き延びられるように、30日間分の蓄えを推奨しているんですって？ これは健康にもお金にも関わる話ですが、少しお話し頂けますか？

Dr. クリス：はい。これは複合的な話になってきて、peakprosperity.comにも色々なコンテンツが大量にあります。目を向けてほしい領域が、主に3つあるんですね。1つめは、健康・衛生・対策グッズ… これまで話してきた内容ですね。2つめとして、こういった特殊な環境においては、自分の富も守っていく必要があります。ロバート、私はあなたの本の大ファンで、バブルの真っ最中だ…という考えに同意なんです。ただ、今回のコロナウィルス問題で、世界の製造業にブレーキがかかりました。世界の製造業の30%は中国にあるのに、それがいきなり止まってしまったんです。供給網にも大きな影響が出ています。米国内だけの話だと感じているかもしれませんが、医薬品の供給が滞ったら大きな問題ですよ。特にジェネリック医薬品等はインドから輸入していますし、

しかも、原料となる化学物質は中国のものなんです。問題ですよ。そういったことが起ころうとしています。これは株式市場にも悪影響でしょうね…今までが高すぎましたもん。しかも、こういった供給ショックは、紙幣を刷ったり金利を下げても解決できません。こういったことを、皆さんも知っておく必要がありますね。ちなみに、今起こっていることを本当の意味で止める方法は1つしかありません。それは、人間をとにかく隔離することです。中国では、1週間~2週間に1回、1人しか家から出てはいけなく、というような制限を設けました。それもふまえて、3つめ。ぜひ食べ物は30日分蓄えておいてください。もし隔離・封鎖されることになっても、少なくとも生きられますし、準備していなかった人よりも安心できると思います。隔離・封鎖だってあり得ますからね。

なので、いつも食べているようなものを備蓄しておいてください。普段絶対食べないようなものを買わないでください。普段、米や豆を食べないなら、米や豆は買わないように。いつも食べているようなものを、冷凍庫も含めて備蓄して、備えておいてください。祖父母の世代なら「それこそ、用心深い行動だ」と言うと思います。なので、色々な面で準備しておくべきです。ハッキリ言いますが、まさに今、私達は未だかつて経験したことのない金融システム、製造業や供給網へのショックの真っ只中にいるんです。だから、どうなるかなんて、誰にもわかりません。というわけで、ちょっと警告でした。用心しておいてください。

ロバート：これを収録している今日は、2020年3月なのですが、FRB（連邦準備銀行）のパウエル議長が、金利を更に500ベーシスポイント引き下げましたよね。それで、どうなったんですって？

Dr. クリス：その後S&Pが1分で80ポイント上がったんですが、すぐにそれよりも下落し、そのまま停滞しています。こんなこと、初めてと言ってもいいんじゃないでしょうか…FRBが利下げしたのに、数分で効果が失われてしまったことなんて。逆に、ちょっと意地悪な質問をさせてください。もしFRBが金利を0.5%引き下げたら、携帯を手にとり航空券を買って、ディズニーに遊びに行きますか？行きませんよね。だから、金利を下げたところで、FRBができることはほぼないんです。もうすでに緩和されていたんですから。カーローン金利も0.5%下がっていますし。とにかく、人々は今起きていることが心配なんです。この2週間で、消費者動向はガラッと変わりました。これは、ちょっとモノが安くなったところで解決できないんですよ。だから、そこは準備しておいたほうがいいです。FRBはもう打つ手なしかもしれません。

ロバート：つまり、FRBが金利を引き下げたからといって、供給網が回復したり、製造業が再稼働するというわけではない、ということですね。従業員達も隔離を目的として自宅待機になっていますし。これはもう、システムの崩壊に向かっているのではないのでしょうか。だから、Dr. クリスは「30日分の蓄えを用意しておけ」って言ってるんですね。もう1つ、Dr. クリスが言っていることがあって、だからこそ、私はDr. ニコルと仲良くさせてもらってるんですが、それが「信頼できる友人を持つておくこと。」

私はDr. ニコルと、彼女のフィアンセのDr. ラーダのことを信頼しています。私、抗生物質をドカンと持ってるんですよ、消費期限が無いので。なので、銃弾と抗生物質は蓄えています。それに、食べ物もあるし、金も銀もあるし、銀行以外に現金もあるし、車のガソリンは満タンです。だって、これがシステム的な問題であれば、もう健康だけの話ではなくなってきます。Dr. ニコルは、今回のシステム崩壊の危機に対して、どんな備えをしていますか？

Dr. ニコル：私も金や銀の現物を集めはじめています。ロバートから、これは「神様のお金（God's Money）」って教わったから。インフレでお金の価値が下がったとして、金や銀は本物のお金なんです。

ロバート：はい。ちなみに「相手方リスク」っていうのがあるんですが、Dr. クリス、少し説明して頂けますか？

Dr. クリス：はい。私が小切手をロバートに振り出したとしたら、ロバートにとってそれは資産で、私が「相手方」になるわけですが、この場合の「相手方リスク」とは、もしかしたら私の小切手が不渡りになるかもしれない、というリスクです。金融の世界は全部「相手方」がいて成立しているわけですが、私の知る限り、金だけは相手方リスクが全くない、唯一の資産なんです。

ロバート：金の現物ってことですよ。

Dr. クリス：現物です。そこがポイントです。自分で持っていないとダメです。誰かに預けているとか、あなた名義の金庫に入れてある…とかはダメです。自分で所有して初めて、本物の富を手に行っていることになるんです。それこそが「お金」なんです。 「通貨」とはまた違うんです。お金と通貨とは別物で、金（きん）は長い間、

お金として使われてきたんですよ。

ロバート：はい。それに田舎に住んでいる人は、現金を持っておくこと。もしパニックが起こって銀行にも行けなくなったら困るでしょう。アイスランドやギリシャ、たしかイタリアでも、そういう事がありましたよね。だからこそ、Rich Dad Radio Showsをお届けしています。そういうことは起こってほしくないですが、起こった場合の準備はできていますか？

では、Dr. クリス。あなたの本「The Crash Course」について最後にお聞きします。この本は、ぜひ皆さんに読んで頂きたい本です。あなた自身も、市場が暴落した時に目が冷めたんですよ… 1996～1998年あたりのアジアの危機にもつながっていると思いますが。この本の中に書いてある、フットボールスタジアムでしたっけ、コロシウムでしたっけ、10万人の観客を飲み込んで、ものすごいスピードで水量が増えていく話、して頂けますか？それを読んだ時、私もハッと思ったんです。説明してください。

Dr. クリス：もちろん。この例を挙げたのは、こういう理由です。人間である私達は「指数関数的な増加」というのを理解できないんですね。直線的な増加ならすぐに理解できるんですが、指数関数的というのが、よく理解できない。というわけで、次のような思考実験をしました。実験は、魔法の目薬ボトルから始まります。何が魔法かという、この目薬ボトルから出た1滴の水は、1分間に倍になるんです。手のひらに1滴落とすと、1分後には2滴になり、2分後には4滴になり、5分後にはだいぶ溜まっています。

というわけで、今日この番組を聴いている皆さんと一緒に、スタジアムに行つたとしましょう。私はあなたを、観客席の一番高い座席に、手錠でくくりつけます。今まで行ったことのある最大規模のスタジアムを想像しながら聴いてくださいね。水漏れはしない設定です。あなたは観客席の最上部にいます。

さて、これから私が例の魔法の水滴を、スタジアムのフィールドの真ん中にポトッと垂らします。水滴は1分間に2倍に増えます。では質問です。あなたが手錠から脱出するまでの時間は、どれくらいあるでしょうか？これは、スタジアムがどんなに多くてもほぼ関係ありません。答えは、50分。逃げるまでに、たった50分しかないんです。しかも、この状況をややこしくしているのが、45分経過時点ではスタジアムのうち97%はまだ水に浸かっていない、という点なんです。45分経過時点では、特段何も起こっていないわけですが。下の方にちょっと水があるな、くらいで。でもその5分後には、スタジアムは丸ごと水没です。これが、指数関数的増殖の意味であり、今回のウィルスはこういう増え方をしています。こちらに1症例、あちらに1症例、2症例、4症例、8症例、…と続き、症例がここで、あそこで、クラスターがここで、あそこで…と思った直後に、爆発です。これまで影響を受けている国ではそういうことが起こっていますし、アメリカも既にそういう状況になりつつあると思います。

ロバート：だからこそ、健康面と金銭面なんですよ。私はDr. ニコルのところに定期的に通って、ビタミンCとか、他のビタミンとか、錠剤とかをもらっています。あと、体重も減りましたが、それは「体重」にフォーカスしたからじゃないんです。「健康」にフォーカスしたからなんです。ただの「減量」と違うの、分かりますか？Dr. ニコルは、幹細胞をはじめとした最先端で最高峰の医療を使ってくれますが、それにはお金がかかるんです。あとDr. ニコルにも言ったのですが、「金や銀がほしい」って思った時には、もう手に入らない…ということです。そうですよね？

Dr. ニコル：はい。

ロバート：パニックが起きるとどうなるのでしょうか。Dr. クリスが言ったようなことです。最後の5分に、みんなが突然気づいた時には、もう金も銀も現金も凍結されてしまいます。わかりますか？

Dr. ニコル：はい。

Dr. クリス：はい。

ロバート：だから、今準備してるんですよね？5分後じゃなくて(笑)どんな準備をしているんですか？

Dr. ニコル：これをコロナウィルスの話をつなげると、私患者さんにも言うんですが「もしかしたらコロナウィルスに感染はするかもしれませんがよ」って。でも、感染した時に、重症化しない80%に入りたいのか、それとも重症化する15%でもいいのか？だから、今から積極的に行動しなければいけません。たとえば、免疫を高めておくんです。そうすれば、万が一感染した時にも戦えますからね。

ロバート：あなたのフィアンセで私の心臓の主治医のDr. ラーダも言っていましたよ。「運動して、ビタミンを採って、健康でいること。それが最強の防御だ」って。そうですね？

Dr. ニコル：その通りです。

ロバート：いいですね。さて、今日はありがとうございました。Dr. クリス・マーテンソンの本のタイトルは「The Crash Course」です。ぜひ読んでください。また彼の会社名は「Peak Prosperity」。そして、Dr. ニコル、数日後にビタミン液をもらいに行きますよ。

Dr. ニコル：ありがとうございました。

Dr. クリス：ありがとうございました。

ロバート：こちらこそ。素晴らしい番組でした。気付きも多いですね。ここまで聴いてくださって、ありがとうございます。次のセクションでは、コロナウィルスがあなたの健康面・金銭面にどのような影響を及ぼすか、まとめていきましょう。

[Last section]

ロバート：The Rich Dad Radio Show のロバート・キヨサキです。コロナウィルスに関する良いニュース、悪いニュースをお届けしてきました。あなたに犠牲者になってほしくないのです、いくつかの信頼できる事実を、専門家からお聞きました。私の意見じゃないですよ、私は病気についてはまったく知識がないので。

1人目は、Dr. クリス・マーテンソン。繰り返しますが、彼は病理学・毒物学の博士であると同時に、2000年の市場暴落ですべてを失った経験から、金融についてずっと嘘をつかれていたことに気付き、MBAを取得しました。その後、パートナーのアダム・タッガードと「The Crash Course」を共著しました。アダムはカリフォルニア、Dr. クリスはマサチューセッツに住んでおり、一緒に「Peak Prosperity」という会社も立ち上げました。ちなみに、

私と Dr. クリスは似た者同士なんです。私は Rich Dad、Dr. クリスは Peak Prosperity。言ってることは同じです。多少異なるメッセージがあっても、基本的にとっても似てるんですよ。

もう 1 人のゲスト、Dr. ニコル・シュレドニッキは私の主治医でもあります。Dr. ニコルのフィアンセの Dr. ラーダは、私の健康をサポートしてくれています。ちなみに、Dr. アダム・タッガードと Dr. クリスが言っているのが「チームをそばに置いておくこと。」あなたが事の重大さに気づいているかどうか分かりませんが、コロナウィルスは関係なくても、世界経済は危機一髪の状態なんです。私が大勢の人に会うのですが、何が起きているのかさえ知らない人がほとんどなんです。

Dr. ニコルは、定期的に私に情報をシェアしてくれているのも有り難いです。ちなみに、お金がない人、保険がない人は、Dr. ニコルの Ultra Healthy Human には電話しないでください。すっごく高額ですから。使っている原材料が高額だからなんです。だって、米国幹細胞学会やアンチエイジング学会の人なんです。「お金なんてあっても、何も変わらないよ」という人に「健康以外は、な。アホ」と言いたいですね。そんなこんなで、Rich Dad Show をお届けしました。お 2 人にもう一度感謝します。というわけで、スタジオにいる私のボス、Dr. サラに戻しましょう。Dr. サラ、今日はどんな学びがありましたか？

サラ：あら…「ドクター」なんて呼ばれたら、父が喜んじゃうわ。この番組で伝えたいことは、自分で自分を守ることなんです。しかも、今すぐにね。何でもそうなんです。SARS でも何でも…自分のことは自分で守らなきゃ。だって、死んでしまったら、お金は関係ないでしょう？

ロバート：病気になったらお金がモノを言うんですよ。お金がなかったら、病気になったら終わり。これが最悪です。

サラ：おっしゃるとおり。

ロバート：それって、正直恐ろしいですよ。

サラ：鍵は、自分で自分を守ることです。手を洗うこと。表面を除菌すること。さっき Dr. ニコルが言ったように飛行機でも気をつけてください。あと、マスクもすること。今もマスクの有効性には色々な意見がありますが、自分を守ることに対しては最善を尽くしてください。

ロバート：今すぐにね。

サラ：はい。そして最近の株式市場は毎日乱高下です。史上最高値を更新したかと思ったら…

ロバート：年初来安値になりましたしね。

サラ：はい。乱高下しているので、重要なのは、あなたの健康と富を守ることです。

ロバート：そのとおりです。あと、これ本当だとしたら…なんです、私の友人で英雄でもあるジム・ロジャー

ズは、市場が下がった時に金を買ったんです。ジム・ロジャーズは最高に頭の良い人で「冒険投資家 ジム・ロジャーズ」という本も出しています。だから私、Dr. ニコルに「貯金癖をやめて、金や銀を買え」って言ってたんですよ。神様のお金ですから。でも彼女は「今はまだ…」と言うんです。「でも、すごく安いじゃないか！」って。つまり、ジム・ロジャーズのような最高に賢い人がそうやってるなら…私も安いから金、買ってますよ。でもみんなは待つだけなんですよ。問題だと思えますよ。

サラ：待ってしまうのは、株式市場のように考えてるからじゃないでしょうか。「大暴落するまで待とうかな」って。でも、金にはそんなこと、起こりません。

ロバート：いや、それも分からない。だからこそ問題なんですよ。

サラ：たしかに。あなたはいつも「金は暴落時のヘッジだ」って言っていますよね。この内容も他のエピソードで話しましたが、銀は今購入できる中でもっとも安価な資産なんです。だったら買いまくったほうがいいんじゃないか、って私は思います。

ロバート：それに、色々な報告書なんかも見てみるとわかるんですが…これ私の友人も言ってることなんですが、世の中フェイクマネーだらけなんですよ。4兆ドルとか増刷したんでしたっけ？一方、入手できる金や銀の量は減っているんです。なぜかという、私とかジム・ロジャーズみたいな人達が買い貯めてるからですよ。私が抗生物質や銃弾、トイレトペーパーや食料を備蓄しているのと同じなんです。分かります？

サラ：昨日コストコに行ったら、水がなくなる位の勢いでした。買い物客がカートにガンガン積み込んでいて…もうパニックが起きていますよね。とにかく、自分を守るために最大限のことをしなければいけませんね。

ロバート：事が起こる前にね。サラはまだ若かったかもしれないけど、2000年問題って覚えていますか？Y2Kと呼ばれていましたが…

サラ：はい、ちょうどその年に20歳になりました。

ロバート：あ、じゃあ覚えてますね。サラは知ってる通り、私コンピューター音痴なんです。2000年問題って言われても、何のこと？って感じでチンプンカンプン。でも、とりあえずレンタル倉庫を借りて、コストコに行きました。缶詰とか水とか色々買いまくって、そのままレンタル倉庫に入れました。レンタル倉庫料は30ドル(3,000円)位でしたかね。食料品は1,000ドル(10万円)分くらい。それで、2000年問題が過ぎ去ったらすぐに、その食べ物を全部持ってフードバンクに寄付して、税金控除を受けました(笑) いずれにしても私は準備をしたんです。今回のメッセージも、それと同じです。金もそう。銀もそう。Dr. ニコルにも言いましたが、人々が「あれが必要だ」と気づいた瞬間には、もう手に入りません。トイレトペーパーもマスクも、もう買えないでしょう(笑)？

サラ：さっき Dr. クリスが番組内でも言っていましたが、アメリカではもう全員に行き渡る十分な数のマスクがないんですね。で、昨日の朝、別の番組で言っていたのは、ほとんどの人は正しいマスクの使い方を知らない、って。ただつけられればいいって思っているけれど、実は外側が汚いんだ…って、問題提起していました。だから、ちゃ

んと取り替えなきゃいけないくて、何度も使っちゃいけないんですよ。それが顔についたりしたら…

ロバート：トイレットペーパーみたいなもんですね(笑)

サラ：はい。みんなそれを知らずに繰り返し使っていますが、それって、外側の汚い部分が顔についてる、って話なんです。

ロバート：だからこそ、Dr. クリスも、マスクだけじゃ完全防備じゃないと言っていましたね。また、医療関係者用にマスクが足りていないから、当局は「効果ありません」と言って、一般市民が買わないようにしている、とも。本当かどうか分かりませんが、あり得ますよね。

サラ：あり得ますね。

ロバート：あと、Dr. クリスにスタジオの話もしてもらいました。50分後に完全水没だとしても、45分目までは水すら見えない。なのに、その直後に気づいた時には、もう終わりです。この話もすごいですよね。というわけで、健康面・金銭面において、コロナウィルスの犠牲者にならないように。サラ、ありがとうございました。

サラ：ありがとうございました。

ロバート：The Rich Dad Radio Show をお聞きくださり、ありがとうございました。今回のゲストは、Dr. クリス・マーテンソン、Dr. ニコル・シュレドニッキでした。



金融界を揺るがすコロナショックがもたらす未来

- ・ コロナがあなたのお金と未来にどんな影響を与えるのか？
- ・ 最悪の未来経済が来る前に、知っておくべき情報源
- ・ みんなが殺到する前に買うべき資産を知る方法

これについて、ロバートキヨサキと専門家が対談をした内容を以下にお届けします。

ロバート：ご存じのように、私たちは大きな大きなパンデミックの渦中にいます。そして、問題は、このパンデミックはリアルなのかということです。リアルであってもなくても、ここでどっちだと決めることはしないですが、国際経済にはどんな影響を与えるのでしょうか。みなさんのポートフォリオ、未来、仕事、退職、それから家族にはどんな影響があるのでしょうか。

今日は特別なゲストをお迎えします。私の長年の友人、バート・ドーマンです。彼は『Prelude to Meltdown』、『Financial Apocalypse』の著者でもあります。このコロナウイルスがどれだけ現実的か突き止めたいと思います。でも、もっと重要なのは、世界的にパンデミックになった時の影響ですね。

キム・キヨサキ（ロバートの妻。以下、キム）：バートはとても仲の良い友人で、番組に出てもらうといつもエキサイティングで面白いんです。それから彼は、第一に教育者でもあるんですよ。だから私たちは仲が良いんです。彼は、多くの人に株式市場や、投資している銘柄の勉強をしてほしいと思っています。2つ目に、彼は有名な研究者でもあります。だから多くの人が着眼しないような所を見るんですね。

ロバート：ここで、バートが執筆しているウェリントンレターの宣伝をしちゃいます。メルマガはたくさん購読していたのですが、ウェリントンレター以外は解約したんです。バートは市場の上げ下げだけでなく、私が必要な情報をくれるのでね。とにかく、楽しい時間になりますよ。さて、議題はコロナウイルスがどれだけリアルなのかでしたね。リアルなものでなかったにしても、フェイクのウイルスだったとしても、私たちのお金と未来にどんな影響があるのでしょうか。

ロバート：バート、ようこそ！

キム：バート、ようこそ。

バート：二人ともありがとう。こういう時は特に、メディアでなんとなく見ているような情報ではなく、僕たちの真剣な分析結果をみなさんに知ってもらう時だと思っています。

良くない情報もたくさん出回っています。例えば、ロックダウン初日の2月24日ですね。この日には、「パニックを起こさないで。誰もお金のパニックは起こりません」とTwitterに書いたんです。パニックは全ての人にある自然な反応、自らの身を本能的に守る反応なんです。だから、パニックになるのは良いことです。

でも、早めにパニックにならないといけないんです。そうでしょ？クラッシュの初日にパニックになった人たちはハッピーだと思いませんか？もちろん私たちのリスナーの皆さんはパニックにはなる必要がなかったでしょう

ね。前の日曜日に、8ページにも及ぶレポートを公開していましたから。見出しは、「金融界に嵐が吹き始めた」で、最後の段落は「規制はいよいよ解禁だ」です。そして、これらが起こる理由を全て書いています。

1年での回復全体は、時価総額が大きい企業の12銘柄に押し上げられました。S&P、ダウジョーンズ工業平均は最高値をつけました。上がるばかりでしたね。みんな株式を買うのはすごく簡単だと思ったのでしょうか。そして、株価は上昇しました。でも、ここに大きな罠があります。絶対に起こってしまうんです。先程の動きが12銘柄を値上がりさせて、強気市場になったかのように見せているんです。

一方で、他の幾千もの株式は既に下がり始め、多くは弱気市場に差し掛かっているのです。S&Pと、真のマーケットの動きを教えてくれる他の広域なインデックスとの違いは説明しましたね。そして、それこそがバリュートラインです。

ロバート：バート、ここでこの話の冒頭に戻りましょう。私たちがパニックを起こすのは問題ない。でも、備えておく方が良く。そのためにキムと僕と Rich Dad Company があるんですけど。何年もこの事態に備えてきたのである意味嬉しいです。他の言い方をすれば、キムに出会ってから私はいつだってパニック状態なんですけど。とにかく、ここで問いたいのは、このコロナウイルスがリアルなものなのか、フェイクなのかということです。

バート：ウイルスそのものは本当のウイルスですね。感染力はとても強い。武漢で発生したものは感染力はとても強いみたいですが、死亡率は高くはないようです。これは大きな違いですね。ここに触れる人はいないのですが。今はまともな統計が出てきました。以前は中国からのものだったのですが、これは信用ならない。でも、クルーズ船の乗客の統計などが出てきました。クルーズ船はウイルスにやられましたよね。感染者数、死者数が分かっています。

それから、アメリカ国内での数字も分かってきました。死者数はこれまでで205人、感染者数は14,000人になっています。本当の数字が明るみになってきたわけです。そして、多くの世代で死亡率はおそらく1%。これは不慮のインフルエンザのようなものです。世界中を絶望させるほどではない。

キム：実は死亡率はインフルエンザより低いですよ。1月と2月の個別の統計を見ましたが、新型コロナウイルスによる死者は2,360人なのに対し、インフルエンザや風邪による死者は70,000人です。誰もここには触れていないんですよ。

バート：それこそが真実ですね。では、なぜ、どこの政府もヒステリーを起こしているのか疑問に思わないといけません。これはすごく奇妙なことなんです。なぜこんなことが起きているのか？それは、ほとんどの国の政府は頭が良くないからですね。だからみんながすぐパニックになる。コストコに駆け込んでトイレットペーパーを買い込む。それからすぐに公的機関がパニックになる。これはもっと悪いことですよ。だって彼らは強制力を行使出来るわけですから。

例えば、警察は道に出歩いている人に、ものすごい強制力を発揮して外出自粛を取り締まっている。マドリードの人はみんな自宅待機をしないとイケない。これがパニックですよ。ウイルスに殺されそうな人を救うつもりが人を殺そうとしているんです。これが理にかなっていますか？

ロバート：ちょっとここで整理しましょう。バートは、これはむしろ生物学的な戦いだと言いたいですよね。リアルだろうがフェイクだろうが現時点ではどうでもいいけれど、これは大きなパニックだと。人々は国防軍に叫んでいる。おそらく社会的不安に陥るでしょうね。

ただ、ここで私がお聞きしたいのは、これが経済にどんな影響を与えるのかということです。例えば、失業率は20%になって、働き口がない、お金がない。こういうパニックの状況は、経済的に一番不安定な人たちに影響を与えます。例えばレストランの店員などはそんなにお金を持っていない。でも子供たちを食わせていかなきゃいけない。

だから、世界経済には何が起ころのか、それが重要な議題です。個人的には、このパニックはリアルだけど、ウイルスそのものは死ぬほどのものじゃない、つまりフェイクだと思っています。ただ、ここでお聞きしたいのは、バートの世界経済と株式市場に対する考えについてです。

バート：そうですね、パニックはばかっていると思います。ただ、パニックの連鎖は起ころでしょうね。そして、不況に入っていくと思います。いいですか。特に何か理由があるというわけではないんですが、代わりに不況で利益を得るのは誰か、ということを考えてみてほしいのです。いいですか。ただちょっと考えてみるだけです。

私には、何かばかげたことや理にかなっていないことが起こった際、自己資金で50年続けてきた投資経験から学んだことがあります。テレビに出ているような人はみんな他人のお金で取引をしていますけど、私は自己資金でやっていますからね。いいですか。私はそういう人たちよりずっと賢くやらないといけないわけです。他の人たちはたとえ負けてもクライアントのお金ですから。何が起きているのか考えないといけないのです。

市場では多くの場合、見通しを立てています。急激なクラッシュでも、私の43年の経験の中でのいかなる弱気市場であっても見通しは立てているんです。いいですね。今、この4週間で私たちはヘッジ・フォリオと言われるプログラムを作っています。5つのモデルポートフォリオがあります。そして、皆さんも、私たちのモデルポートフォリオを自分のポートフォリオにワンクリックで並べられます。簡単でしょう？私たちが使っているベンチマークを凌ぐものは何でしょう？バリューラインです。私たちは69.4%も上にいます。

ロバート：そこで稼いでいるのですね。

バート：バリューラインより約70%も上です。

ロバート：バート、あなたの経済に対する予測を聞いてもいいですか？失業率が20%なら、みんなお金がないですよね。そうなるとうどうなりますか？私たちが知りたいのはそこです。

バート：そうですね、なるようになると思いますよ。失業はかなり増えるだろうし、破産や不履行も立て続けに起ころし、浮浪者も増えるでしょうね。そして、人はお金がなくて腹を空かせたら、これは資本主義のせいだ！バーニー・サンダースが必要だ！と言うでしょうね。

キム：では、バートがさっき言っていたことですが、誰がこの不況から利益を得るのですか？

バート：僕には誰だかはっきり分かりますよ。個人名まで分かりますけど、ここでは言えないな。

ロバート：じゃあ名前は伏せて、何が明白なのか教えてもらえますか？みんながこれはパニックだと分かっていますから。

バート：みなさん本を読まないよね。色んな人とこの話をするんです。何も知らずに物事を判断しすぎなんです。分かりますか？そしてこの陰謀みたいなことを目の当たりにするのです。

さて、ビスマルクという政治家が120年前のドイツにいました。彼の言葉に「政治の世界では、偶然にして起こることなどない」というものがあります。いいですか。これが私が常時心に留めていることです。何か込み入ったことが起こった時は、意図的なのです。計画されているんです。シャットダウンの全てが事前に計画されていたとは言いません。でも、ひょっとしたら準備はしていたのかもしれない。決め切っているわけではないんですよ。ただ、別に他の可能性があるかもしれないよと言いたいのです。そして、これが市場でもやらないといけないことなんです。

ロバート：バート、あなたの予言はこれまで全部現実になってきていますね。どうやってですか？レターについては言わなくていいですよ。僕がもう十分に宣伝しておきましたから。お聞きしたいのは、普通の人々が今すべきことです。教えたくない？普通の人はお金がなくてあなたのレターを購読できやしないんですよ。だから、確定拠出年金をやっている人へのアドバイスでも、破産しそうな会社に勤めている人にもいいので、どんなアドバイスをしますか？彼らはバートの忠告なんか心に留めてなかったんです。そんな彼らに今言えることは？

バート：そうですね、今大きな穴を掘っている人に言いたいのは、穴を掘るのはもうやめろということですね。そうさせている人の言いなりになるなど。

ロバート：でもそういう人はどうすればいいんですか？

バート：まずは経済や市場に関する本を読んでください。他にも我々の『Financial Apocalypse』、みたいな良書をね。2008年の歴史的出来事と言えば金融危機です。そして、今年の後半には経済危機を迎えます。

ロバート：僕は読みましたよ。

バート：当時、ウォールストリートは超強気市場でした。みんなが強気で誰も話を聞かなかったですよ。

ロバート：あなたが正しいってことはみんな分かっています。だから、繰り返し聞いてますが、私たちは何をしたらいいんですか？お金がない普通の人々のことです。職なし、賃貸あり、ローンあり、子沢山な人です。

キム：トイレットペーパーも沢山持っている人ね。

ロバート：それからあなたの本も読んだということにしましょう。もう遅すぎるかもしれないですけど。そんな

人に何を勧めますか？

バート：もう私の本は読まなくていいですよ。遅すぎですから。もう 10 年も売ってるんですよ。これが来る経済危機の手引きになります。市場は上がります。永遠に上がります。

ロバート：商業貸出でお金を借りた人には何が起こるのでしょうか。大きな建物を建てた人には何が起こるのでしょうか。バートはどこを見えていますか？ 工事中の建物の負債の面を見えていますか？

バート：もちろんです。REIT のチャートを見ると、率直に言えば全ての建物は破綻しますよ。

キム：銀行はどうなります？

バート：大きいところは大丈夫です。政府からの援助資金で小さなところを買うでしょうね。銀行システムはシュリンクします。

キム：では、そうなっても普通の人は銀行からお金を引き出せますか？

バート：はい、FDAC の保険がありますから。ただ、250,000 ドル以上預金しているのであれば、気を付けないといけません。法改正により数年前から預金者はもはや、債権者ではなくなったのです。2008 年の出来事の後には、預金者は、銀行の株主になりました。つまり、突然株主と投げ込まれたわけです。そして、それは株主と共倒れすることを意味します。これを理解している人はほとんどいません。

ロバート：皆さん今バートが言ったことをしっかり聞いてくださいね。私が株を好まないのは、真っ先に負け犬になるからです。企業が破産したら、株主やエクイティの保有者は炎上します。二番目に、債券や債権の保有者です。彼らにはまだ可能性があります。これがファイナンスというものです。

株価暴落の予兆も中国の危機もバートは言い当てていました。何年も前にバートは、中国が世界最大のクレジットカード発行国だと言っていましたし、中国で起きていたことに警鐘を鳴らしていました。そして 'Financial Apocalypse、を執筆して。あなたは正しかった。私の意見に耳を貸す人はほとんどいませんでしたけど。あなたの水晶玉にはアメリカと中国の経済がどうなると映っていますか？

バート：長期的な見通しでいいですか。ファクトが将来的に変われれば、見通しも変わるということは前提にしてください。米国債が一番安全です。米国債、90day Tビル、中期 T ボンドを 7~10 年の期間で購入します。それから長期債、T ボンドも購入します。そして、それら全て ETF と一緒に購入可能です。そうすれば、株みたいに買えるのです。中期債は、IEF と呼ばれ、長期債は TLT と呼ばれます。これはリスクがもっと高くなります。紙幣が大量に刷られて売却される時が来るかもしれないからです。必ずそういうことはあります。年末までに、金利はおそらく劇的に下がるでしょう。もう下がっていますけど。これを信じてくれる人はいないのですが、Tビル、つまり短期 T ボンドの利回りは昨日 0% を下回ったんですよ。歴史上初めてです。T ボンドを購入するのに利息を払わないといけません。これは短期債の話です。国はすぐに対応して、0% まで戻しました。でも、今中央銀行は大量の紙幣を刷っています。連邦準備制度だけではなく、世界的にです。

ロバート：レポ市場は1兆ドル規模になりますか？

バート：もっと大きくなりますよ。一日ごとに1兆ドルですから。

キム：レポ市場とは何ですか？そこでは何が起きているのですか？

バート：レポとは、銀行の短期ローンのことです。そして、銀行は連邦準備制度の準備預金を使うためにお金を借りないといけません。他の銀行に出向いて、1、2日でいいからお金を貸し付けてくれないかと言います。見返りとして、米国債の債務証券を発行しなければならないのです。TボンドかTビルかそれに準ずるものです。そして1、2日後に返金して、国債の有価証券を取り戻します。これがレポ市場です。きわめて重要なものです。去年の夏、レポ市場は干からびていました。テレビに出ているような人は、レポ市場をちゃんと理解していないので、誰もここには触れませんでした。でも、連邦準備度は介入して1.5兆ドルを投入したのです。兆ですよ。これは一大事でしたよ。でも誰も注目しなかった。

ロバート：9月のことですね。

バート：これは信じられないことですよ。とにかく、どんどんどんどんお金をつぎ込んだのです。そして、ようやくレポ市場はまた機能し始めました。印象的だったのは、普通はレポ市場に流れるお金というのは銀行が連邦準備制度に預ける過剰準備預金なのです。例えば、JPモルガンのような大きな銀行は、1.4兆ドルも連邦準備制度に入れていることもありました。でも、その時は通常のようにレポ市場にお金を流さなかったのです。なんでいつものようにしないのか？リスクをとるのが怖いのか？と考えました。とにかく、その状況は乗り越えたとし、今は大丈夫だ、連邦準備制度がアクセルを踏んでいるしと。1月までは株も順調でした。

そして、恐るべきことが起こりました。レポ市場は先週再び硬直したのです。それだけでなく、もう一つ誰も着目していないことがあります。商業手形市場が硬直したのです。それが2007年後半にあった警告でした。これはレイ・ダリーなどが40年前言っていた悪夢のシナリオで、かつてはカンファレンスでも話題に出た話です。彼との酒の席で、商業手形市場が硬直したらどんな事態になるか予測できるかという話をしました。それは、この世の終わりのシナリオを意味します。そして、2007年後半には本当に硬直してしまい、誰も気にならなかったのです。これが「Prelude to Meltdown」という私の本に書いてあることです。そして、同じことが先週起こったのです。これは非常に重要なことなのに、メディアでは取り上げられていない。商業手形、略してIOUです。

例えば企業が50億ドル必要な時、商業手形市場で90日の無担保IOUを売ります。そして、90日ごとに借り換えるのです。でも、市場が硬直して借り換えが出来ないと。そうなったら50億ドル用意しないといけませんが、50億ドルを持っていない。これが2008年に起こったことです。貸主は誰だったか？ウォーレン・バフェットですよ。彼がお金を出したのです。たしかゴールドマンサックスだったと思います。個人投資家のウォーレン・バフェットが100億ドルですよ。これが、商業手形市場が硬直すると起こることです。そして再び起きてしまった。これは、非常に、非常に悪い何かの前兆です。だから準備預金なんですよ。一日1兆ドルをレポ市場に、そしてもっと多くを他の市場に流しているのです。今刷られている紙幣はこの世からなくなりますよ。

いいですか。誰だったか、有名な人が言っていたんです。たしかブリッジウォーター・レイ・ダリオだったかな。彼が、30兆ドルの紙幣が出回っていると言っています。これは、年間GDPの1.5倍にもなるんです。パニックになるでしょう？

ロバート：先ほど商業手形市場が要だと言っていましたよね。なぜ商業手形市場がレポ市場よりも重要なんですか？それとも同等ですか？

バート：商業手形市場は企業に直接影響を与えるためです。これが、皆が見逃したもう一つの警告です。2007年、ウォーレン・バフェットが全てのキャッシュを握っていました。分かりますか。たしか600億くらいだったかと思います。同時に、株を買え、個人投資家が長期投資するのに絶好だとみんな言っていました。

でも、私はだったらなぜバフェットがそうしないのか、なぜ彼は多額の金に乗っかっているだけなのかと言いました。そして翌年、経済危機が起こった時に、理由は分かりました。唯一バフェットだけがキャッシュを手に入れている人間だったからです。そして、同じことが起こりました。1月に書いたことですが、ウォーレン・バフェットが投資家に株を買えと言ったか。なぜ彼は125億ドルを動かさなかったのか。2007年のピーク時に2倍にもなったんですよ。株が良いと思っていたなら、彼はなぜあれだけの金を動かさなかったのか。なぜ株に突っ込まなかったのか。そして今、私たちは彼がこの危機で唯一キャッシュを手にする人間だと知っています。125億ドルです。

ロバート：バート、改めてあなたがゲストで良かったです。CNNにさえない洞察力ですね。そうでしょう？

バート：そう言ってほしかったよ。

ロバート：もう何年もバートの話を聞いています。ダイヤモンドヘッドの私の自宅から出たら、ご近所さんから「クレイジーなバート・ドーマンの言っていることを知っているか」と言われて、私は「クレイジーじゃないよ」と言ったんですけど、「いやクレイジーだ！僕を怖がらせようとしているよ」と言うので「じゃあ怖がるべきだね」と言ったんです。ようやくみんなが恐怖を抱いていますね。

彼の本は財政面での暴落の予兆になりました。最も重要なことは、良いですか皆さん、彼のウェリントン・レターを購読することですよ。分かりやすく書かれていますので。最新のウェリントン・レターで、まさに市場が後退した時に彼が辿った道と、お金を稼いできた方法を紹介しています。だからバート・ドーマンに従った人は今日お金を稼いでいるのです。これが一番重要なことですよ。これがバートが言いたいことです。彼のニュースレターの名はウェリントン・レターですからね。購読してくださいね。

キム：それから、彼のウェブサイトは dohmencapital.com です。

ロバート：バート、長年みんなに警鐘を鳴らしてきましたけど、ついに1人か2人は耳を傾けているんじゃないですか。

バート：一つだけ非常に大切なことを言わせてください。この小さな弱気市場に巻き込まれないでください。い

いですか。多くの方はちょっと回復したところを買いたいのでしょうか。主要なトレンドとしては、市場は下がります。次の2年間でもっともっとスローダウンしていきます。トレンドを見て取引してください。少し回復しても見逃します。そして、もう回復しなくなったところで売ります。今朝のようなところで。一瞬で約600ポイントは獲得したと思います。これは重要なことです。物事には必ず理由があります。NY知事がNY州を閉鎖するのには意味があります。

最悪の事態はまだこれからです。数百万人が給与を貰えずうろたえる。出費だけがかさんでいく。食料と在庫切れのトイレトペーパーが必要。ケチャップをトイレトペーパーにつけて食べる。最悪の状況がやって来るのです。そして、私たちはこういう時に、集団のまとめ役ではなく、ビジネスマンが大統領だったのはラッキーだと思います。彼はいい動きをとっています。彼は今素晴らしいチームを携えています。間違える時もありますけど、間違えない人間なんていないでしょう？彼らの行動がとても速くて私たちはとてもラッキーですよ。素晴らしい。短期間でプログラムを仕上げました。だからアメリカ人はラッキーだと思いますね。

ロバート：バート、いつも有益な情報を本当に有難う。ウェリントン・レターはいくらでしたっけ？

バート：月額69ドルです。安いでしょ。通常2通で、多ければ4通送られます。1通につき15～20ページありますよ。大量の情報を受け取れますよ。

ロバート：私がバートのレターが大好きなのは、ちゃんと理解できるからなんです。これが一番大切。最新のレターを読めば、バートの言うことを聞く人が金持ちになって、CNNやCNBCを観ている人は貧乏になるってことが分かります。バート、ありがとうございました。

キム：バート、ありがとうございました。

バート：ありがとう。出られて嬉しかったです。そして、リスナーの皆さんが安全であることを本当に願っています。デマに流されないでください。市場は常に上がるわけではないことに気付いて下さい。そして下がった時に取るべき行動を知っていれば、いざ下がった時に早く稼ぐことができます。

[Part 2]

ロバート：おかえりなさい。こちらは、ロバート・キヨサキがお送りする Rich Dad Radio Show です。株式市場の良いニュース、悪いニュースをお届けします。今は2020年の3月ですよ。今が重要な時期である理由は、物事がとても速く変化しているからです。今お伝えしていることは、数日後には変わるかもしれません。私たちは「オススメ」は提供しませんが、「教育」を提供しています。今回の内容は何度も繰り返し復習してくださいね。内容が盛りだくさんでしたから。バートの話が止まりませんでしたからね。彼は、ここ何年も正しかったんです。彼がどれだけ正しいかみなさんに知ってもらえて喜んでいるでしょう。

友達、家族、同僚にも聞いてもらって議論してみてください。それが今できる一番重要なことです。バートが言っていたように、何年にも渡って彼は忠告していました。キムと私はその忠告を真面目に捉えたので、今日上手くやれています。皆さんにもそうなってほしいのです。

キム：ええ、そうですね。ジム・リッカードや色んな人が言っている金と銀の話と同じです。彼らは、今買えと言っています。時が来て、必要になった時にはもうないからです。もう手遅れなんです。だからバートが言っていることは本当です。何も備えていない、何もしていないのなら、大変なことになると思います。普通に暮らしていくための備えですから。数週間前に私の元に来た人が何人かいるのですが、「Rich Dadのことを教えてくれてありがとう。おかげで元気にやっている。この先も大丈夫。この危機は乗り越えたよ」とお礼を言われました。だから本当に大切なことですよ。

ロバート：彼の言っていることは正しい。それで Rich Dad はうまくやっていますよ。売上も上がっているし、従業員も増えました。彼らは失業の心配とかはしなくていいんです。なぜならお金がありますから。個人的には、キムと私はもっと順調ですよ。アパートメントを持っていますので。貧困層への援助が始まったら、お金は私たちのアパートメントを借りている人たちに流れます。彼らの幸運を祈ります。

ただ、不幸にも、貸し倒れと貧困がアメリカを襲って来るので、アメリカ経済は崩壊するでしょうね。社会は大不況に突入します。最後の不況は 25 年、つまり 1929 年から 1954 年まで続きました。でも、今回は前回よりも酷いかもしれない。なぜなら、紙幣がもっと刷られましたから。

キム：ということは、もっともっともっと多くの方が政府に頼るということよね？

ロバート：それが狙いだよ。バートが言っていたことさ。生意気で傲慢でアメリカ人精神が強かった人たちが、その精神を捨てている。私はバーニーに反対というわけではないですけど、社会主義にシフトする人が増えている。もっと増えているのはマルクス主義ですね。マルクス主義の釣りをしている人は、マルクス主義者を知らない。PC (Politically Correct) になったら、マルクス主義者になったということです。PC とは、言論の自由がないということです。これはアメリカで、そして世界で今起こっていることです。これ以上は何かの、弱虫な奴の引き金を引くのも嫌だから言えないですけど。とにかく、それが人生。大都市での人生というものですよ。

キムが先程話していた、金と銀について考えてみてください。3 種類の金と銀があります。1 つ目は将来の市場。金と銀が値下がりした理由は、未来の市場が安く売り払ったからです。EFT、GLD、EL Salvey が出てきて、金や銀をいじくり回した。だから金と銀の値段は急落したんです。その時こそが、最高の買い時だった。だから私とキムは奮発して、もっと金と銀を買ったわけです。でも困ったことに、一つも買えなかったんです。ただこういう時のために友達がいるでしょ。長年金と銀を売ってくれていた友達がね。彼らは新しい客には売らず、お得意さんに売るんです。

ジムが言っていたことですよ。トイレットペーパーと同じく、みんな金や銀を貯蔵しているんです。そして金や銀を貯蔵している人は、その在庫を減らしているとも言えるのです。言い換えれば、金と銀の量は実は減っているのです。増えているところもあるんですが。金持ちやら中央銀行やらは、金と銀を買って奥にしまっているんですよ。だから普通の人が見える金と銀の量は減って、減って、減っていくのです。そして大不況に突入と。手に入らないですよ。これがジムが話していたことです。あなたも今、買った方がいいですよ。まだあるうちにね。みんなこのパニックが終わったら買いますから。

キム：みんなが買い始めたころにはもう手遅れですよ。

ロバート：そんなわけで私は2、3日前に友達の店に行って来ました。ほぼ空だったけど、全くないってことでもなかった。裏に隠してあって、お得意さんにだけ売っているんです。抜け道があるって最高。公平かって？公平ですよ。だってあなただってバートのニュースレターをもっと早く購読することができたし、私たちの話をもっと早く聞くことだってできたわけです。要するに、ずっと昔僕たちだってパニックになったってことだよな？そうでしょ、キム。

キム：そうだったわね。何もなかった時はパニックになったわ。Rich Dad Companyは、私とあなたで長年やってきたことの産物なのです。私たちが学んだこと、私たちがやってきたこと、実際に起こした行動なんです。私たちがやり切った。やっていないことについては何も話していません。そういうことについては、他の専門家に託します。でも、Rich Dad Companyの従業員、お客様、ゲスト、皆さんへ私たちが伝えていることは実際に学んできたことです。だから、ちゃんと内容を理解しているのです。

ロバート：バートが言っていたことだね。彼は自己資金で投資をしている。CNBCやFOXに出ている人の大半は、あなた方のお金で投資して、失敗もしている。

キム：それでも気にしない！でもギャラは貰っているわ。

ロバート：それからいつも私たちが言っているように、フィナンシャルプランナーに何に投資したらいいかって聞くのは、牛に夕飯を聞くようなものですからね。



< 免責事項 >

- ・当社の商品、およびコンテンツは、お客様の投資判断や運用戦略のご検討にあたり参考となる情報の提供を目的として作成されたものであり、実際の投資等に関わる最終的なご決定はお客様ご自身のご判断で行って頂きますようお願い致します。
- ・当社の商品、およびコンテンツは、お客様の投資におけるいかなる利益も保証するものではなく、また、投資の結果によってお客様が思わぬ損害を被る可能性もあるため、投資を行われる際にはお客様ご自身で投資のリスクを慎重に検討されますよう併せてお願い致します。
- ・当社の商品、およびコンテンツに掲載されている情報は、当社が信頼できると判断した情報源から入手した情報等によっておりますが、当社がこれらの情報の正確性等について、全て、独自に検証しているわけではありません。当社はこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何らの表明又は保証をするものではありません。当社は、当社の商品、およびコンテンツの内容及び提供、並びにお客様による第三者への開示等について、お客様その他当社の商品、およびコンテンツの閲覧者に生じた一切の損害、損失又は費用について、損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害結果損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含め、これらについて債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何を問わず、何ら責任あるいは義務を負わないものとします。
- ・当社の商品、およびコンテンツ中における、シミュレーションやバックテストについては参考データ等のご提供を目的として作成したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。

Rich Dad Poor Dad Letter 4月号

発行日 2020年4月
著者 ロバート・キヨサキ
発行者 寺本隆裕
発行所 APJ Media 合同会社
大阪府大阪市中央区南船場2丁目5番12号
クリスタファイブ 10F

©2020 APJ Media, LLC All rights reserved.

※この電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。